



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL https://www.yamabiko-corp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	104,033	5.9	9,776	36.1	9,739	46.2	7,237	43.3
2019年12月期第3四半期	98,194	5.2	7,184	8.0	6,663	0.5	5,050	△0.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 6,300百万円 (44.7%) 2019年12月期第3四半期 4,354百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	174.42	—
2019年12月期第3四半期	121.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	110,535	61,131	55.3	1,473.05
2019年12月期	102,845	56,285	54.7	1,356.54

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 61,131百万円 2019年12月期 56,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	35.00	35.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	6.7	8,700	40.3	8,500	43.6	5,700	36.9	137.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 3 Q	44,108,428株	2019年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	2,608,202株	2019年12月期	2,616,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 3 Q	41,496,726株	2019年12月期 3 Q	41,433,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
3. その他	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は刈払機が前年並みの水準となりましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受けたトラクタやコンバインなどの大型機種は大きく減少しました。国内建設機械市場は長引く人材不足や建設工事の遅れに加え、販売活動の停滞により低迷しました。海外小型屋外作業機械市場は、新型コロナウイルス感染拡大の中、欧州で経済活動の規制強化による一時的な落ち込みはあったものの、主力市場である北米や欧州において、主に在宅時間の増加に伴い需要が増加しました。

また、為替相場は、前年同期間に比べ対ドル、対ユーロともに円高水準となりました。

このような環境の中で当社グループは、「中期経営計画2022」の初年度となった当連結会計年度において、市場競争力のある製品ラインナップの充実による販売量拡大を図るとともに、デジタルマーケティングによるブランド認知度向上などの諸施策を着実に推進しました。また、原価低減や生産効率の改善に継続的に注力するとともに、製品品質の向上にも取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間	2020年12月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 98,194	百万円 104,033	% 5.9
国内	37,832	38,555	1.9
海外	60,361	65,478	8.5
米州	50,683	56,597	11.7
その他海外	9,678	8,880	△8.2
営業利益	7,184	9,776	36.1
経常利益	6,663	9,739	46.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,050	7,237	43.3

[売上高]

国内：農業用管理機械や一般産業用機械が減少したものの、小型屋外作業機械が大幅に増加して増収となりました。

海外：米州は、一般産業用機械が低迷しましたが、小型屋外作業機械が大きく伸長し、農業用管理機械も好調に推移して増収となりました。米州以外の海外は、西欧は微増となりましたが、ロシアやアジア、豪州が落ち込みました。海外全体の売上高は、為替がドル、ユーロともに円高となったものの、北米が引き続き牽引して増収となりました。

[損益]

円高による利益の押し下げがあったものの、販売数量の増加や原価率の改善が利益を押し上げたことなどにより営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに大幅増益となりました。

[セグメント別の概況]

① 小型屋外作業機械

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間	2020年12月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 65,083	百万円 72,553	% 11.5
国内	11,245	12,399	10.3
海外	53,837	60,154	11.7

国内：主力の刈払機は軽量化と操作性を向上した新製品が好調に推移し、ホームセンター向け製品も引き続き好調だったことに加え、アクセサリやスペアパーツも伸びて大幅な増収となりました。

海外：主力の北米は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより、刈払機やチェーンソーを中心に製品販売が大きく伸ばしたほか、アクセサリやスペアパーツも好調に推移して大幅な増収となりました。米州以外の海外はアジアが回復し、西欧も新型コロナウイルスの感染拡大に伴う販売活動の規制が緩和するとともに急速に回復したことから微増に転じたものの、ロシアや豪州は大きく落ち込んで減収となりました。海外全体では、円高による影響を受けたものの、北米販売が牽引して大幅な増収となりました。

② 農業用管理機械

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間	2020年12月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 17,916	百万円 17,819	% △0.5
国内	13,939	13,591	△2.5
海外	3,976	4,227	6.3

国内：需要が拡大している畦草刈機やモア、高所作業機は引き続き好調に推移したものの、前年同期に消費税率引き上げ前の駆け込み需要があったスピードスプレーヤやブームスプレーヤなどの大型防除機が前年同期比では落ち込み、減収となりました。

海外：北米は、ポテト関連製品が好調に推移し、大豆収穫機も回復したことなどにより増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間	2020年12月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 13,663	百万円 12,029	% △12.0
国内	11,122	10,934	△1.7
海外	2,541	1,095	△56.9

国内：主力の発電機はインフラ整備需要を着実に取り込んだものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う建設工事の遅れや販売活動の停滞などにより溶接機や投光機が減少しました。

海外：新型コロナウイルスの感染拡大による景気低迷の影響や販売活動の停滞などにより総じて落ち込みました。

④ その他

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間	2020年12月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 1,531	百万円 1,631	% 6.5
国内	1,525	1,630	6.9
海外	5	0	△98.2

主要3事業以外の売上高は、主に保守サービスの収入が増加して増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて76億90百万円増加し1,105億35百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加53億60百万円、受取手形及び売掛金の増加83億62百万円、商品及び製品の減少31億82百万円、仕掛品の減少10億35百万円、有形固定資産の減少9億46百万円及び無形固定資産の減少1億87百万円等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて28億44百万円増加し494億3百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11億46百万円、電子記録債務の減少6億12百万円、借入金金の増加10億57百万円、未払法人税等の増加5億57百万円、賞与引当金の増加10億38百万円、厚生年金基金解散損失引当金の減少4億18百万円等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて48億46百万円増加し611億31百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加57億78百万円、為替換算調整勘定の減少8億47百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、55.3%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが78億25百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが20億63百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが3億97百万円の支出となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は116億23百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益96億87百万円、減価償却費27億69百万円、賞与引当金の増加額10億38百万円、売上債権の増加額87億84百万円、たな卸資産の減少額37億46百万円、仕入債務の増加額19億32百万円、法人税等の支払額19億69百万円等により、78億25百万円の収入(前年同四半期は67億88百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出21億46百万円等により、20億63百万円の支出(前年同四半期は24億74百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額14億92百万円、長期借入れによる収入21億51百万円、長期借入金の返済による支出24億86百万円、配当金の支払額14億55百万円等により3億97百万円の支出(前年同四半期は31億51百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績予想の見直しを行った結果、2020年8月12日に公表いたしました通期の連結業績予想および期末配当予想を修正しております。

詳細については、本日(2020年11月11日)に公表しました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,262	11,623
受取手形及び売掛金	25,693	34,055
商品及び製品	23,434	20,251
仕掛品	3,103	2,068
原材料及び貯蔵品	10,797	10,559
その他	2,300	1,799
貸倒引当金	△322	△231
流動資産合計	71,270	80,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,153
土地	7,988	7,908
その他（純額）	7,711	7,200
有形固定資産合計	24,208	23,262
無形固定資産	668	481
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,611	1,578
その他	5,468	5,485
貸倒引当金	△382	△398
投資その他の資産合計	6,697	6,665
固定資産合計	31,575	30,409
資産合計	102,845	110,535

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,947	10,093
電子記録債務	11,975	11,362
短期借入金	2,972	4,444
1年内返済予定の長期借入金	2,578	380
未払法人税等	760	1,318
賞与引当金	—	1,038
製品保証引当金	1,091	612
厚生年金基金解散損失引当金	475	475
その他	5,050	5,147
流動負債合計	33,852	34,873
固定負債		
長期借入金	9,837	11,621
退職給付に係る負債	42	47
製品保証引当金	519	852
厚生年金基金解散損失引当金	1,492	1,074
役員株式給付引当金	105	137
その他	709	797
固定負債合計	12,706	14,530
負債合計	46,559	49,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,754	9,743
利益剰余金	39,957	45,736
自己株式	△940	△925
株主資本合計	54,771	60,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	947
為替換算調整勘定	548	△299
退職給付に係る調整累計額	△72	△70
その他の包括利益累計額合計	1,514	577
純資産合計	56,285	61,131
負債純資産合計	102,845	110,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	98,194	104,033
売上原価	70,548	73,845
売上総利益	27,646	30,188
販売費及び一般管理費	20,462	20,412
営業利益	7,184	9,776
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	42	41
受取ロイヤリティー	43	25
持分法による投資利益	15	33
その他	177	155
営業外収益合計	282	260
営業外費用		
支払利息	202	111
為替差損	494	124
支払手数料	32	1
その他	73	60
営業外費用合計	803	297
経常利益	6,663	9,739
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除売却損	72	52
特別損失合計	72	52
税金等調整前四半期純利益	6,601	9,687
法人税、住民税及び事業税	1,896	2,591
法人税等調整額	△346	△142
法人税等合計	1,550	2,449
四半期純利益	5,050	7,237
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,050	7,237

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,050	7,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△91
為替換算調整勘定	△670	△847
退職給付に係る調整額	22	1
その他の包括利益合計	△696	△937
四半期包括利益	4,354	6,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,354	6,300

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,601	9,687
減価償却費	2,670	2,769
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	45	35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	△65
受取利息及び受取配当金	△46	△45
支払利息	202	111
賞与引当金の増減額(△は減少)	983	1,038
売上債権の増減額(△は増加)	△6,961	△8,784
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,434	3,746
仕入債務の増減額(△は減少)	2,351	1,932
未収消費税等の増減額(△は増加)	593	482
持分法による投資損益(△は益)	△15	△33
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△418	△418
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	29	32
その他	△223	△614
小計	8,288	9,878
利息及び配当金の受取額	44	41
利息の支払額	△191	△125
法人税等の支払額	△1,352	△1,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,788	7,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,475	△2,146
有形及び無形固定資産の売却による収入	12	101
その他	△10	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,474	△2,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,178	1,492
長期借入れによる収入	6,500	2,151
長期借入金の返済による支出	△5,624	△2,486
配当金の支払額	△1,659	△1,455
連結子会社増資に伴う非支配株主からの払込による収入	35	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△112	△10
その他	△113	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,151	△397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,048	5,360
現金及び現金同等物の期首残高	4,641	6,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,689	11,623

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与えましたが、2020年5月25日の政府による緊急事態宣言の全面解除を受け、経済活動が再開されております。

これまで本感染症による当社グループの事業活動への影響は限定的でありましたが、経済活動が再開されたこともあり、今後も影響は限定的と仮定して繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	65,083	17,916	13,663	96,663	1,531	-	98,194
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	40,848	11,097	11,220	63,167	1,642	△64,810	-
計	105,931	29,014	24,884	159,830	3,173	△64,810	98,194
セグメント利益	10,046	256	1,107	11,410	317	△4,544	7,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△4,544百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	72,553	17,819	12,029	102,402	1,630	-	104,033
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43,956	11,328	11,468	66,752	893	△67,645	-
計	116,509	29,147	23,497	169,155	2,524	△67,645	104,033
セグメント利益	12,830	472	710	14,013	340	△4,577	9,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△4,577百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2020年11月11日付けの取締役会において、下記の通り固定資産の譲渡を決議いたしました。

1. 譲渡の理由

当社は、経営資源の有効活用及び財務体質の強化を図るため、固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の概要

所在地 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山3番

資産の内容 土地 85,944.00㎡、建物 87.07㎡

譲渡前の用途 当社製品の試験場

譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先との取り決めにより公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として記載すべき事項はございません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日 2020年11月11日

契約締結日 2020年11月11日

物件引渡日 2020年12月25日(予定)

5. 業績に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴い、2020年12月期第4四半期連結会計期間において固定資産売却損約100百万円を特別損失として計上する見込みであります。

3. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動 [2021年1月1日付]

代表取締役会長執行役員	永尾 慶 昭 (ながお よしあき)	現 代表取締役社長執行役員
代表取締役社長執行役員 エコー・インコーポレイテッド会長	久保 浩 (くぼ ひろし)	現 取締役専務執行役員 経営企画担当 兼 管理担当 兼 デジタル戦略室担当

②執行役員の変動 [2021年1月1日付]

代表取締役副社長執行役員 営業担当	田崎 隆 信 (たさき たかのぶ)	現 代表取締役副社長執行役員 営業担当 兼 海外本部長 兼 エコー・インコーポレイテッド会長
常務執行役員 生産担当	女鹿 俊 一 (めが しゅんいち)	現 常務執行役員 生産本部長
常務執行役員 海外本部長 兼 経営企画担当	北林 孝 明 (きたばやし たかあき)	現 常務執行役員 海外本部副本部長
上席執行役員 産業機械本部長 兼 やまびこベトナム会長	倉田 伸 也 (くらた しんや)	現 上席執行役員 産業機械本部長 兼 海外営業部長 兼 やまびこベトナム会長
執行役員 エコー・インコーポレイテッド上級副社長	多良 剛 (たら たけし)	現 執行役員 経営企画室長
執行役員 生産本部長 兼 追浜工業㈱代表取締役社長	北村 良 樹 (きたむら よしき)	現 執行役員 生産本部副本部長 兼 追浜工業㈱代表取締役社長
執行役員 経営企画室長	西尾 良 平 (にしお りょうへい)	現 執行役員 やまびこヨーロッパ・エス・エイ副社長

以 上